

今年のにほんご 「あいうえお大賞 2025」 入賞作品

【一般の部】

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
1席	ちとせ	熊澤 南	東京都東村山市	祖母の傘寿のお祝いをしたとき、命のつながりを実感した。5歳の娘が折り紙の花を祖母に渡し、2歳の娘がその手をぼんぼんと触れる。その様子を見ながら、なんだか泣きそうになった。「ばあば、いくつになったの?」と尋ねられた祖母が「八十歳だよ」と笑う。そのしわ一つひとつに、長い年月の物語が刻まれている。祖母の手、私の手、娘たちの手。そうやって命が受け継がれていくことを感じ、「ちとせ」を選んだ。
2席	いじくらしい	長田 朋子	石川県加賀市	東京生まれの私。総湯文化と加賀の風土が生み出す暮らしに憧れ、つい先日移住して参りました。 57年の人生で、加賀山代で初めて出会ったこの方言!!全く想像つかない!よかったら是非ググってみてください。まだまだ観光気分毎日総湯に通ってますが、ここ山代で早く使いこなしてみたいなあ。この言葉。
	ひこばゆる	蓬田 さと子	石川県加賀市	山中にある木工の伝統工芸の研修所に入所して一年が経ちます。先生方から、その技術だけでなく、作品への向き合い方や工芸の歴史、植物や生き物の話にいたるまで多くのことを教えていただく日々は、驚きと喜びにあふれています。 卒業年度である今年、先人達の積み上げてきた歴史という大木の足元から芽吹くひこばえのように、空に向かってすくすくとのびていくぞという意気込みを込めて、この言葉を選びました。
3席	「じのもん」 「じわもん」	北山 イスズ	石川県金沢市	この土地で栽培・収穫されたお野菜・お魚等。 この土地の人。豊かな食生活、食文化に恵まれた 地力の『地』だと思えます。反対語は"えんじょもん" 遠所のもの。
	いいがいね	上出 仁紀	石川県加賀市	山代弁で「いい塩梅」「このくらいでいいでしょ」という「まあまあ、そう言わずに」という時に使います。とても都合の良い言葉だと思います。曖昧な感じもしますが、ハッキリと言い切らずに折り合いをつけるような北陸独特の感じで好きですし、便利な言葉です。
	いくひさしく	山本 美咲	兵庫県高砂市	「いつまでも、変わることなく」という意味です。「いつまでも/かわることなく/友だちでいよう/明日の日を/夢みて/希望の道を」林原めぐみさんの「今日の日はさようなら」という曲の歌詞です。昭和50年前後の小中学校の卒業式では、ほとんどの学校で歌われていました。私の親友が外国人と結婚し、異国の地で生活環境があまり良くなく苦労しているとのことで心配です。親友の事を思う時この曲が浮かびます。
	ちよにやちよに	細川 莉央	香川県善通寺市	君が代で知られている「千代に八千代に」という言葉は、千年万年、時代を超えて絶えず継続することを意味します。今年も、百年後もずっと日本の平和が続くことを願いこの言葉を選びました。
	一念通天	山本 理恵	山口県柳井市	どんなことでも、一心に念じ努力し続ければ、必ず成し遂げられるという意味です。本当に一生懸命努力している人は、必ず誰かが見えていますし、もし目標に向かい努力を重ねその時は成功しなくとも、人生のどこかで活かされ、報われると思います。大人になっても、日々努力していかなくては!!

【小・中学生の部】

1 席	いただきます	西尾 美旺里	東京都品川区	いただきますの意味は、「いのちをいただきます」ということから来ていると知ったとき、お野菜や生き物のいのちがありがたくおもいました。にがてなお野菜があるけれど、ありがたいの気持ちをもってもっと食べられるようになりたいとおもいます。
2 席	いろは	藤瀬 綾	神奈川県横浜市	最近、茶道を始めました。最初は何もわからず、覚えるのに手一杯でしたが、だんだん毎月毎週季節が移ろっていくのがお道具やお花やお菓子を通してわかるようになりました。また、難しいお点前に挑戦しても、やはり大事で美しさを決めるのは一番最初に習った基礎だと感じ、それを忘れないようにしたいと思ったのでこの言葉を選びました。
	一陽来復(いちようらいふく)	原野 梨音	三重県松阪市	一陽来復の意味は、「寒い冬が過ぎたら暖かい春がくるように、よくないことの後には必ず良いことがある。」という意味です。今、世界各地では戦争や紛争が起きていますが、平和=明るい春に向かって世界が動けばいいなと思い、この言葉を選びました。
3 席	飲水思源 (いんすいしげん)	山内 彩衣	石川県加賀市	飲水思源は水を飲むとき、その水源のことを思う意から、他人から受けた恩を忘れるなという戒めの意味で使われています。私は能登半島地震を経験しニュースで普通の生活をおくるのが難しくなった人々をみて当たり前にご飯を食べたりお風呂に入ったりすることがとてもありがたく当たり前ではなかったのだと改めて実感しました。日々の小さな当たり前に感謝していきたいです。
	いだい	山崎 紗椰果	東京都世田谷区	私は、いだいという言葉を選びました。なぜいだいという言葉を選んだかという、いだいという言葉聞いたらなぜか、自信を持てるからです。
	希望の光	曾谷 逞真	石川県白山市	どんな時でも希望をもって進みます。つらい時でも悲しい時でも前を向いて進んで行けば何とかなることもあります。今年の言葉に決めました。
	気づき	高橋 海翔	東京都荒川区	私は現在中学校3年生で、今年から高校に進学します。元々みんな同じ土地に住んで、同じ学校に通っていたけど、この先進路が人それぞれ異なっていくことに勘づき始めるという学年です。その上で、同じ土地のメンツと過ごせる、最後の1年間だったので友達のいいところをたくさん探し、気づいていくことで充実させることができたから。
	いのち	櫻井 真緒	東京都港区	私の家はお寺です。お盆やお彼岸にお檀家さんがお参りに来てくださいます。お墓にはみなさんのご先祖様が眠っているし、私の大おじいちゃん、大おばあちゃんもいます。私のこのいのちは眠っている二人のおかげで、ここにいます。直接は会えないから、いのちをありがとうと手を合わせてお参りをしています。大切ないのちをありがとう。